

第4号様式（要項第6条関係）

2022年度 第3回 藤沢市立御所見中学校 学校運営協議会会議録

開催日時：2022年9月27日（火）15時00分～

場 所：御所見中学校 図書室

参加者

中岡 正晴（御所見中学校 校長）
高畑 眞澄（御所見中学校 地域担当教諭）
須藤 和久（御所見市民センター長）
坂本 哲也（藤沢市社会福祉協議会 CSW）
鈴木 理恵（元本校 PTA 本部役員 思春期保健相談士）
平賀 英子（御所見地区民生委員）
角田 宗夫（元中学校長 人権擁護）
鈴野 達也（御所見地区青少協会長 元本校 PTA 会長）
加藤 寛章（御所見中学校 PTA 会長）
大井 秀幸（三者連携〈ふれあい共育ネットワーク〉会長 元本校 PTA 会長）
角田 祐生（藤沢市教育委員会）

（傍聴者2名）

以上 欠席2名 12名出席

次 第

1. 開会
2. 議題
 - （1）学校運営の課題と解決策について（部活動の地域移行）
 - （2）御所見中学校コミュニティスクールの運営について〔継続〕
3. その他

協議内容（議題）

【議題1】学校運営の課題と解決策について（中岡副会長）

《学校が抱える様々な課題と背景》

- | | |
|--------|----------------------|
| ○学力向上 | ←学校の重要な役割・「新しい学び」の促進 |
| ○安心・安全 | ←「新しい生活様式」の実践 |
| ○人材育成 | ←若手教員の増加・管理職候補不足 |
| ○地域連携 | ←変化する地域との連携 |
| ○働き方改革 | ←超過勤務時間削減・教師不足による負担 |

- 小中連携 ←「義務教育学校」の特色ある経営
- タブレット学習 ←GIGA スクール構想・コロナ禍対策
- 部活動の地域移行 ←「働き方改革」
 - ・慢性的な「教職員不足」
 - ・少子化による「学校単位制破綻」

今回メインにしたい話は「**部活動の地域移行**」。令和５年度から少しずつ実施。来年度は市内１校がモデル校として１部活が実施、令和６年度から全校１部活、令和７年度から半分以上の部活、令和８年度から全面実施移行予定。果たして、この方法で教員の働き方改革に繋がるかは疑問が残る。実施手段は、主に３パターン検討されている。

1. 事業者 委託事業
2. スポーツ少年団 交流拡大型事業
3. 地域団体等 運営主体事業

大井会長) 昔の野球部はそういった地域移行的なものを実施していた。サッカーやバレーボールも…。土日も顧問の先生が来ていたが、ほとんどコーチの方が指導してくれていた。

鈴木委員） サッカーは地域指導者（外部指導者）に依頼して実施していた。

角田さん) 地域指導者から外部指導者へ委託できるように変化している。

鈴木委員) コーチと連携することで、逆に教員の仕事が増えるのではないかと。
(コーチとの連絡のやりとり等)

中岡副会長) 来年度からモデル校が実施する。モデル校が実施する部活動の選定については1・2・3のどれかで徹底しなければいけないわけではない。家庭科部は御所見市民センターと連携して文化祭などを実施して、ひとつの「活動の場」となっている。部活動も今後、形を変えていく。

大井会長) 土日の部活動は、先生たちの拘束にはならないのか。

中岡副会長) 土日の出勤は残業時間扱いになる。職員アンケートでは…
昔の顧問の在り方と、今の顧問の在り方では認識が大きく違う。

大井会長) 昔は働く人が素晴らしく、今はしっかり休める人が素晴らしい時代。昔は遅く帰ってきても部活動をしっかりやっているといるという安心感があった。

鈴木委員) 部活動の実施手段 2、3 は近い気がする。
何か募集する手立ては決まっているのか。
1 は教員の業務削減には近づくが、地域との連携とは遠いか。

中岡副会長) まだ決まっていない。地域の方と一緒に悩みたい。

坂本委員) やはり地域の方との繋がり的大事。社体協との連携も視野に入れた
い。毎回の指導の繋がりには厳しいが...

加藤委員) 指導になると敷居が高い...。土日はどうしても必要か。大人がいて、何かあれば見守っている大人が手助けするスタイルはどうか。

中岡副会長) やはり責任所在という点で課題が残る。

全 員) 土日の大会や引率などはやはり顧問が必要。競技によっては審判をし
なければならなくなるため、専門性がないと厳しい。
小学校のスポーツ団体からコーチができるか依頼するなどはどうか。

須藤委員) 中体連の大会はどうしても教員で運営しなきゃいけないのだろう
か。昔は平日に顧問がくることがほとんどなく、OB・OG たちが来て、
指導してくれていた。

角田委員) たしかに部活動は生徒にとって大きな影響を与えるものではある。
しかし、この問題を考える時、大前提にしなければならないのは職員
の負担。昔からずっと教員には多大な負担になっている。リタイアし
ている人間として教員の大変さを伝えさせてもらった。

大井会長) 企業じゃない公務員の先生がやるのが当たり前という認識を変えて
もらわなきゃいけない。部活動を一生懸命にやってくださる先生に甘
えてはいけない。

角田委員) 遠征などで何か問題があった場合の対応は、やはり教員でなければ
いけない。これは現在の学校での規則。
ところで、外部指導者の保険体制はきちんとクリアできていますか。

角田さん) クリアできている。今後、地域移行の体制も検討している。人材確
保・責任という2つの観点で課題。今は部活動指導員という体制が少し
ずつ普及している。大会だけでなく、地域でのスポーツの受け皿も検討
されている。レクリエーションなどが目的の生徒もいる。

【議題2】御所見中学校コミュニティスクールの運営について〔継続〕

- 「コミスクの在り方」について
- 次年度の「学校運営協議委員会」の人選について

角田委員) GIGA スクール構想についてよくわからないので教えてください。

中岡副会長) 現在、一人一台タブレット端末が貸与され、学習ソフト等を利用して授業で活用している。これまでの授業形態の変化、教科書の代用、課題の多様化などがあげられます。

鈴木委員) 不登校について。課題になっているのか。今回の議題で課題には上がっていないが... 課題にはなっていないのか。

中岡副会長) もちろん、継続した課題です。他にも提示されていない様々課題があります。これは、あくまで協議会の話題として、主な課題を提示したものです。

中岡副会長) 次年度は御所見小学校、その次は中里小学校にコミスクが立ち上げられる。

須藤委員) すでに実施されている学校はあるが、その成果の報告義務があるか。

角田さん) 確認します。
コロナ前の事業に戻すだけでも大きな成果だと考える。生徒と地域が繋がることは多い。

鈴野委員) コロナ禍でできなかった「青少協」の行事を行う。リハビリのねらいもある。6地区を回るスタンプラリー。御所見には何があるのかを知ることが大きなねらい。少年の森で実施。クイズを解いていく。
御所見中学校から来るボランティアはすごく評判が良い。

【議題3】日程の確認

次回開催日程：2022年11月29日（火）15：00～

会場：御所見中学校 図書室